

ISO 16128 に基づく化粧品の自然及びオーガニックに係る指数表示

ISO 16128 は、化粧品が自然・オーガニック化粧品か否かを判断するための基準ではなく、化粧品の自然・オーガニック指数を計算するための基準です。

ISO 16128 では、自然・オーガニック原料等の定義と指数の計算方法が規定されており、「表示」に関しては、日本化粧品工業連合会がガイドラインとして策定しました。

表示される指数は、使用原料の由来や処理方法（化学合成過程の有無等）により、以下の4つがあり、それぞれ水を含むか水を含まないかが合わせて表示されています。

自然指数	水を含む	または	水を含まない
自然由来指数	水を含む	または	水を含まない
オーガニック指数	水を含む	または	水を含まない
オーガニック由来指数	水を含む	または	水を含まない

さらに「ISO 16128 準拠」等、ISO 16128 で規定された計算方法で算出した指数である旨が併記されています。

具体的には、「指数の種類」「指数 (%)」「指数計算に水を含める/含めない」「ISO 16128 準拠」の4点を製品上に記すことを定めています。



なお、これらの指数は、自然・オーガニック化粧品（原料を含む）の安全性や品質について規定したものではありません。また、任意表示のため、すべての製品に表示されるものではありません。

【用語の説明】

自然指数：製品に ISO 16128 で定義された自然原料 が何%含まれているのかを示す。



<計算に水を含める場合>

$$\frac{\text{小計} + \text{水}}{\text{小計} + \text{小計} + \text{水}} \times 100$$

(重量比)

<計算に水を含めない場合>

$$\frac{\text{小計}}{\text{小計} + \text{小計}} \times 100$$

(重量比)

自然由来指数：製品に ISO 16128 で定義された自然原料 と 自然由来原料中の自然由来部分 が何%含まれているのかを示す。



<計算に水を含める場合>

$$\frac{\text{小計} + \text{水}}{\text{小計} + \text{小計} + \text{水}} \times 100$$

(重量比)

<計算に水を含めない場合>

$$\frac{\text{小計}}{\text{小計} + \text{小計}} \times 100$$

(重量比)

「自然由来原料」の自然由来指数(%)計算への反映

自然由来指数(%)を計算する場合は、原料の自然由来部分のみを加算していきます。



非自然部分が、50%を超える原料は非自然原料と見なされ、自然由来部分は自然由来指数には算入されません。



オーガニック指数：製品に ISO 16128 で定義されたオーガニック原料が何%含まれているのかを示す。



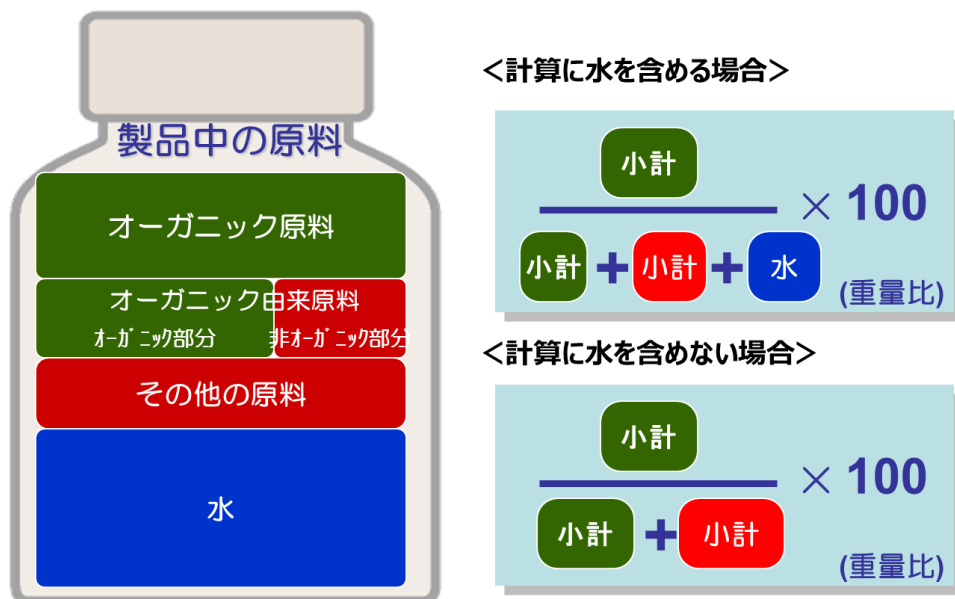
<計算に水を含める場合>

$$\frac{\text{小計}}{\text{小計} + \text{小計} + \text{水}} \times 100 \quad (\text{重量比})$$

<計算に水を含めない場合>

$$\frac{\text{小計}}{\text{小計} + \text{小計}} \times 100 \quad (\text{重量比})$$

オーガニック由来指数：製品に ISO 16128 で定義された**オーガニック原料**と**オーガニック由来原料中のオーガニック由来部分**が何%含まれているのかを示す。



ISO 16128 で定義された自然原料

水および植物・動物・微生物・鉱物（石油・天然ガスを除く）起源で、かつ化学合成を伴わず乾燥や粉碎など物理処理で得られた原料。

ISO 16128 で定義された自然由来原料

植物・動物などから得られた「自然由来部分」と石油などから得られた「非自然由来部分」が化学反応して出来た原料で、分子構造の 50%以上が自然由来部分で出来ているもの

ISO 16128 で定義されたオーガニック原料

各国基準や国際基準で定められたオーガニック農法または収穫方法で得られた自然原料。日本においては、有機 JAS 認証基準が該当する。

ISO 16128 で定義されたオーガニック由来原料

オーガニック農法で得られた「オーガニック由来部分」と「自然由来部分」が化学反応して得られた原料で、石油由来の部分を含めないもの

【Q&A】

Q 1. それぞれの指数（自然指数・自然由来指数・オーガニック指数・オーガニック由来指数）が、同時に記載されていることはありますか。

A 1. 日本化粧品工業連合会のガイドラインでは、それぞれの指数を同時に記載することは可能ですので、自然指数〇〇%（水を含む）・オーガニック指数〇〇%（水を含む）等、複数の指数が表示されていることはあります。

Q 2. 指数は最大いくつで、最小いくつなのでしょう。

A 2. それぞれの指数は 0%～100% までとなります。
ただし、個々の製品の安全性や品質の高さを示すものではありません。

Q 3. 製品に表示されている指数は誰（どこ）が決めるのですか？

A 3. 指数表示をする場合、表示する企業は、製品ごとに表示の根拠となる原料の資料をそろえ、保管しておく必要があります。その内容をもとに、表示する企業自身が ISO 16128 で決められた計算方法で算出します。

Q 4. 自然・オーガニック化粧品に関しては、さまざまな認証機関、推奨機関による定義等が存在しますが、ISO 16128 と比較はできますか？

A 7. 従来から存在する各種認証機関や推奨機関および製品に表示されている各種マークと、今回の ISO 及びガイドラインと並列に比較できるものではありません。それぞれの考え方で「自然・オーガニック化粧品」としての根拠を示しているため、それぞれの認証基準、推奨基準をご確認ください。

【ISO について】

ISO とは、スイスのジュネーブに本部を置く非政府機関 International Organization for Standardization (国際標準化機構) の略称で、日本を含む世界 163 カ国 (2017 年 7 月現在) が参加しています。ISO の主な活動は国際的に通用する規格を策定することです。ISO 規格は、国際的な取引をスムーズにするために、何らかの製品やサービスに関して「世界中で同じ品質、同じレベルのものを提供できるようにしましょう」という国際的な基準です。化粧品の自然及びオーガニックに係る基準の検討は、2010 年、TC217 (「化粧品」に関する技術委員会) のワーキンググループ 4 (ISO/TC217 WG4 terminology:用語) において始まり、2016 年 2 月には ISO 16128 Part 1 「原料の定義」、2017 年 9 月には Part 2 「原料及び製品の基準」が ISO 規格として発行されました。

この ISO 16128 は、日本規格協会の <https://webdesk.jsa.or.jp/> から購入が可能です。(英仏文のみ・邦訳なし)